

周防灘初記録のヤリマンボウ

澤井悦郎^{1,2}

¹ 〒 639-0200 奈良県北葛城郡上牧町 マンボウなんでも博物館

² 〒 684-0016 鳥取県境港市花町 8-1 海とくらしの史料館

はじめに

ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* (Liénard, 1840) は、フグ目マンボウ科 Molidae ヤリマンボウ属 *Masturus* に属し、舵鰭の中央よりやや背側が後方に突出することが特徴的な大型海産魚類である(波戸岡・萩原, 2013; 松浦, 2017)。日本近海における本種は青森県から沖縄県まで散発的に記録されているが(例えば, 波戸岡・萩原, 2013; 澤井, 2020), 瀬戸内海における出現記録は著しく少ない(澤井, 2025)。このたび, 2025年1月に山口県山陽小野田市でヤリマンボウ1個体が打ち上げられたとの情報が得られ, 周防灘で初記録になると考えられたため, ここに報告する。

材料と方法

本研究で調査したヤリマンボウ1個体 (Fig. 1) に関する写真や情報は, 謝辞に記した情報提供者から得られた。本個体は2025年1月14日に, 山口県山陽小野田市にあるきららビーチ焼野付近の海岸 (33°56'58.0"N, 131°09'49.1"E) に打ち上げられているのを発見された。本個体は動いていなかったことから発見時には死亡していたものと考えられ, 直接計測されていないが写真からの目視的な推定で体サイズは全長0.5–2 mの範囲にあると思われた。本個体の種同定は先行研究(波戸岡・萩原, 2013; 松浦, 2017) にしたがって, 写真による外部形態の観察を行った。本個体が発見された日と前日の発見場所周辺の海面水温は, 気象庁(2025) のデータを読み取り, 10–11 °Cであった。

結果と考察

本研究で調査したマンボウ科1個体は, 舵鰭の中央よりやや背側が後方に突出することから (Fig. 1 矢印), ヤリマンボウに同定された。本個体の打ち上げ日は不明であるが, 発見日とその前日の発見場所周辺の海面水温 (10–11 °C) は, 本種が一般的に好む 20 °C 以上の水温と比べてかなり低く, 本種の打ち上げを報告した先行研究の事例同様に, 低水温が打ち上げを引き起こした一因になった可能性が考えられた(例えば, Sawai and Yoshida, 2019; 澤井, 2021c)。

本研究で調査した限りでは, これまでに文献上で知られているヤリマンボウの都道府県別の記録は以下のとおりである [新規データの無い引用の繰り返し(魚類目録など)や情報が曖昧なもの(魚類図鑑など)を除き, 各文献で新たなデータとして使用されたサンプルや情報(同一個体の重複含む)の中で, 都道府県が分かるもののみを示した(★の文献は後に本種に再同定された個体を含む)]: 青森県(澤井, 2020); 岩手県(澤井, 2020); 宮城県(酒井, 1986; 古川, 1993); 秋田県(竹内, 1988; 白鳥, 2008; 松浦, 2017; Sawai and Yoshida, 2019); 山形県(西村, 1960); 茨城県(茨城の海産動物研究会, 2004); 千葉県(波戸岡・萩原, 2013); 東京都 [伊豆諸島 (Kuronuma, 1940; 黒田, 1949; 磯貝, 1980; 澤井, 2024b); 小笠原諸島 (岸上, 1917 ★; 藪田, 1953; Liu et al., 2008; 小枝ほか, 2016; 澤井・氷厘亭, 2019)]; 神奈川県(山田・工藤, 1997; 相良・小

Sawai, E. 2025. First record of *Masturus lanceolatus* (Molidae) based on a photograph in Suo-nada, the Seto Inland Sea, Japan. *Nature of Kagoshima* 51: 207–210.

✉ ES: Ocean Sunfishes Information Storage Museum, Kanmaki-cho, Kitakatsuragi-gun, Nara 639-0200, Japan (e-mail: sawaetsu2000@yahoo.co.jp).

Received: 2 February 2025; published online: 2 February 2025; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-044.pdf

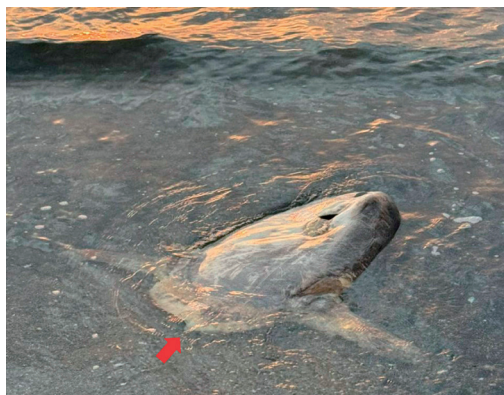


Fig. 1. An individual of *Masturus lanceolatus* was found stranded on beach (33°56'58.0"N, 131°09'49.1"E) near Kirara Beach Yakeno in Sanyo-Onoda City, Yamaguchi Prefecture, Japan, on 14 January 2025. Arrow: clavus median projection. Photographed by IseP.

澤, 2002); 新潟県 [西村, 1958 ★, 1960; 西村・水沢, 1962; 寺泊町役場総務課, 1993; 相良・小澤, 2002; 佐渡島 (Honma, 1957a; 本間, 1957b)]; 富山県 (津田, 1990); 石川県 (山本ほか, 1995; 澤井, 2021c); 福井県 (相良・小澤, 2002; 田中・安曾, 2010; 吉田・澤井, 2019; Sawai and Yoshida, 2019; 澤井ほか, 2022); 静岡県 (黒田, 1949); 三重県 (日比野, 2018; 澤井, 2021a; 澤井・杉山, 2021a, b); 京都府 (吉田, 1799–1801 ★; 澤井・氷屋亭, 2019; 吉田・澤井, 2019; 澤井, 2024b); 兵庫県 (山本, 1951; 森, 1956; 川上・一澤, 2012); 和歌山県 (宮脇, 1983; 中島ほか, 1987; 福田・御前, 1992; 御前, 2000, 2021; 池田・中坊, 2015); 鳥取県 (田村, 1996; 川上, 2002; 川上ほか, 2008; 白鳥, 2008; 一澤ほか, 2018); 島根県 [隠岐諸島 (波戸岡・萩原, 2013)]; 山口県 (小林ほか, 2006; 園山ほか, 2020; 久志本, 2022); 徳島県 (澤井, 2021b); 香川県 (澤井, 2025); 高知県 (下田, 1995); 福岡県 (吉田・澤井, 2019; Sawai et al., 2019; 芦屋町役場企画政策課広報情報係, 2023); 佐賀県 (澤井, 2024a); 長崎県 (山田・入江, 1989; 相良・小澤, 2002; 粟生・澤井, 2018; Sawai and Yoshida, 2019); 大分県 (立川・宮島, 2018); 鹿児島県 [澤井・山田, 2017a, b; 小枝, 2018, 2020, 2022; 公益財団法人鹿児島市水

族館公社, 2018; 口永良部島 (波戸岡・萩原, 2013; 木村ほか, 2017); 奄美大島 (小枝ほか, 2016)]; 沖縄県 [沖縄県水産試験場, 1978; 矢野, 2005; 海の生き物を守る会, 2009; 澤井・峯水, 2022; 南大東島 (矢部, 1950); 与那国島 (Shimose et al., 2006, 2007)]. 公益社団法人瀬戸内海環境保全協会 (2023: pp. 1–2) の「瀬戸内海環境保全特別措置法による対象区域」を瀬戸内海の範囲の基準にすると, 瀬戸内海における本種の記録は, 響灘 (小林ほか, 2006; 園山ほか, 2020) と播磨灘 (澤井, 2025) からの記録のみであり, 本個体 (Fig. 1) は周防灘初記録のヤリマンボウとなる.

謝辞

本研究を取りまとめるにあたり, 本研究で調査したヤリマンボウの写真や情報は伊勢 P 氏に提供していただいた. 心から厚く御礼申し上げる.

引用文献

- 芦屋町役場企画政策課広報情報係. 2023. 生き物と地球のために今ぼくができること. 広報あしや, 1002: 7.
- 粟生恵理子・澤井悦郎. 2018. 長崎県江迎川下流域におけるヤリマンボウ (マンボウ科) の未成魚の打ち上げ記録. 日本生物地理学会会報, 72: 1–4.
- 福田照雄・御前 洋. 1992. 串本海中公園センターで記録された魚類一覧 (2). 串本海中公園マリンバビリオン, 21(6): 2–3.
- 古川 健. 1993. ヤリマンボウ (マンボウ科), p. 166. マリンピア松島水族館 (編) 宮城の魚 (自然百科シリーズ 6). 河北新報社, 仙台.
- 波戸岡清峰・萩原清司. 2013. マンボウ科, pp. 1746–1747, 2242–2243. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- 日比野友亮. 2018. 志摩半島前島半島部における海産魚類の地方名目録. 三重県総合博物館研究紀要, 4: 9–29.
- Honma, Y. 1957a. A list of the fishes found in the vicinity of Sado Marine Biological Station. III. Journal of the Faculty of Science, Niigata University, Series II, Biology, Geology and Mineralogy, 2: 111–116.
- 本間義治. 1957b. 新潟県魚類目録補訂 (V). 魚類学雑誌, 6: 109–112.
- 茨城の海産動物研究会. 2004. 茨城県北沿岸域を中心とした魚類, pp. 429–449. ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編) 茨城県自然博物館第3次総合調査報告書—阿武隈山地・県北部海岸を中心とした県北東部地域の自然—. ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 岩井.
- 一澤 圭・太田悠造・田邊佳紀・榊山 匠・川上 靖. 2018. 鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物 (2014年～2017年)—鯨類, 鰐脚類, ウミガメ類, その他特筆すべき海洋動物について—. 鳥取県立博物館

- 研究報告, 55: 9-15.
- 池田博美・中坊徹次. 2015. 南日本太平洋沿岸の魚類. 東海大学出版部, 秦野. 597 pp.
- 磯貝高弘. 1980. ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* (LIÉNARD) の幼魚について. 京急油壺マリンパーク水族館年報, 10: 17-19.
- 川上 靖. 2002. 鳥取県沿岸に多数漂着したヤリマンボウ属(予報)とその他の漂着動物(2000年4月~2002年3月). 鳥取県立博物館研究報告, 39: 37-42.
- 川上 靖・一澤 圭. 2012. 鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物(2010年~2011年), および大型ヤリマンボウ. 鳥取県立博物館研究報告, 49: 13-16.
- 川上 靖・一澤 圭・安藤重敏. 2008. 鳥取県沿岸に漂着した大型動物および漁獲された稀な動物の記録(2006年~2007年). 鳥取県立博物館研究報告, 45: 17-22.
- 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯 健・小枝圭太(編). 2017. 緑の火山島 口永良部島の魚類. 鹿児島大学総合博物館, 鹿児島市. 200 pp.
- 岸上鎌吉. 1917. シビ類の食物. 水産学会報, 2(1): 106-108.
- 気象庁. 2025. 日別海面水温. https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaiyo/daily/sst_HQ.html (1 Feb. 2025)
- 小林知吉・堀 成夫・土井啓行・河野光久. 2006. 山口県の日本海沿岸域における海洋生物に関する特記的現象. 山口県水産研究センター研究報告, 4: 19-56.
- 小枝圭太. 2018. ヤリマンボウ, pp. 494-495. 小枝圭太・畑晴陵・山田守彦・本村浩之(編)黒潮あたる鹿児島島の海内之浦漁港に水揚げされる魚たち. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
- 小枝圭太. 2020. ヤリマンボウ, pp. 594-595. 小枝圭太・畑晴陵・山田守彦・本村浩之(編)大隅市場魚類図鑑. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
- 小枝圭太. 2022. マンボウ科, p. 313. 岩坪洗樹・伊東正英・山田守彦・本村浩之(編)薩摩半島沿岸の魚類. 鹿児島水圏生物博物館, 枕崎・鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
- 小枝圭太・興 克樹・本村浩之. 2016. 奄美大島から得られたマンボウ科の稀種ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus*. Nature of Kagoshima, 42: 339-342.
- 公益財団法人鹿児島市水族館公社. 2018. ~かごしま水族館が確認した~鹿児島島の定置網の魚たち 増訂版. 公益財団法人鹿児島市水族館公社, 鹿児島. 335 pp.
- 公益社団法人瀬戸内海環境保全協会. 2023. 令和4年度瀬戸内海の環境保全 資料集. 公益社団法人瀬戸内海環境保全協会, 神戸. 101+33+110 pp.
- 黒田長禮. 1949. マンバウとヤリマンバウとに就て. 生物, 4: 206-208.
- Kuronuma, K. 1940. A young of ocean sunfish, *Mola mola* taken from the stomach of *Germo germo*, and a specimen of *Masturus lanceolatus* as the second record from Japanese water. Bulletin of the Biogeographical Society of Japan, 10: 25-28.
- 久志本鉄平・柿野敦志・下村菜月. 2022. マンボウとヤリマンボウにおける体表模様による個体識別の可能性. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 19: 1-7.
- Liu, K. M., M. L. Lee, S. J. Joung and Y. C. Chang. 2008. Age and growth estimates of the sharptail mola, *Masturus lanceolatus*, in waters of eastern Taiwan. Fisheries Research, doi: 10.1016/j.fishres.2008.08.013 (Aug. 2008), 95: 154-160 (Jan. 2009).
- 松浦啓一. 2017. 日本産フグ類図鑑. 東海大学出版部, 平塚. 127 pp.
- 御前 洋. 2000. 定置網で漁獲された魚種について(6) 1999年の結果. 串本海中公園マリンパビリオン, 29(6): 4-5.
- 御前 洋. 2021. 定置網で捕獲された魚種について(15) 2010年1月~2020年12月. 串本海中公園マリンパビリオン, 50(5): 4-5.
- 宮脇逸朗. 1983. 水族館とびっくす No.22 ヤリマンボウ. 串本海中公園マリンパビリオン, 12(5): 5.
- 森 為三. 1956. 山陰地区隠岐群島を含む及びその附近海域の魚類に就て. 兵庫農科大学紀要, 2(3): 1-62.
- 中島東夫・入江正己・丸山清重. 1987. 和歌山の魚: 和歌山県立自然博物館展示解説第5集. 和歌山県立自然博物館, 海南. 91 pp.
- 西村三郎. 1958. 熱帯・亜熱帯性動物—特に魚類—の日本海への流入ならびにその内部における移動に関する一考察. 日本海区水産研究所研究年報, 4: 113-119.
- 西村三郎. 1960. 1959-60年の冬, 新潟県の海岸に漂着した珍動物6題. 採集と飼育, 22: 213-216.
- 西村三郎・水沢六郎. 1962. 1960-61年の冬, 新潟県沿海で捕獲された外来動物の記録. 採集と飼育, 24(3): 32-35.
- 沖縄県水産試験場. 1978. 昭和52年度沖縄周辺重要水産資源調査. 沖縄県水産試験場資料, 31: 1-64.
- 相良恒太郎・小澤貴和. 2002. 日本周辺におけるマンボウ類に関するアンケート調査結果. 水産海洋研究, 66: 164-167.
- 酒井敬一. 1986. 魚類図鑑 南三陸の沿岸魚. 志津川町役場, 志津川. 179 pp.
- 澤井悦郎. 2020. 写真に基づく青森県初記録および北限記録更新のヤリマンボウ. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 3: 5-9.
- 澤井悦郎. 2021a. 写真に基づく三重県初記録のウシマンボウ, およびマンボウ属の新たな分類形質. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 8: 31-36.
- 澤井悦郎. 2021b. 写真に基づく徳島県からのヤリマンボウ, ウシマンボウ, およびマンボウ(マンボウ科)の記録. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 10: 1-6.
- 澤井悦郎. 2021c. 現代および明治時代の石川県で確認されたヤリマンボウとマンボウ属魚類の記録. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 10: 39-43.
- 澤井悦郎. 2024a. 写真に基づく佐賀県からのヤリマンボウの確かな記録. Nature of Kagoshima, 51: 145-148.
- 澤井悦郎. 2024b. ヤリマンボウにおける京都府からの確かな記録と伊豆諸島北部海域産個体でみられた舵鰭突出部の個体変異. Nature of Kagoshima, 51: 177-180.
- 澤井悦郎. 2025. 写真に基づく香川県初記録のヤリマンボウ. Nature of Kagoshima, 51: 203-206.
- Sawai, E., Y. Hibino and T. Iwasaki. 2019. A rare river stranding record of sharptail sunfish *Masturus lanceolatus* in Fukuoka Prefecture, Japan. Biogeography, 21: 27-30.
- 澤井悦郎・石井陽風・近藤美友・近藤敏康. 2022. ヤリマンボウの形態異常個体(短縮した臀鰭)の記録と水中ロボットによる臀鰭の形態が遊泳に及ぼす影響の検討. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 22: 21-25.
- 澤井悦郎・氷屋亭水泉. 2019. マンボウ類の古文献の再調

- 査から見付かった江戸時代におけるヤリマンボウの日本最古記録. *Biostory*, 31: 80–89.
- 澤井悦郎・峯水 亮. 2022. 日本近海で初めて撮影されたイカ類との相互作用を示す生きたヤリマンボウ幼魚の記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 20: 44–50.
- 澤井悦郎・杉山弘樹. 2021a. 志摩マリンランドにおけるヤリマンボウの希少な飼育記録. *Nature of Kagoshima*, 48: 61–65.
- 澤井悦郎・杉山弘樹. 2021b. マンボウ科(ヤリマンボウ, ウシマンボウ)とコバンザメ科(ナガコバン属)の共生関係に関する一考察. *Nature of Kagoshima*, 48: 79–82.
- 澤井悦郎・山田守彦. 2017a. 鹿児島県産ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* 若魚の外部形態. *Nature of Kagoshima*, 43: 249–252.
- 澤井悦郎・山田守彦. 2017b. 鹿児島県産ヤリマンボウ *Masturus lanceolatus* 若魚の成熟度および食性に関する若干の知見. *Nature of Kagoshima*, 43: 253–255.
- Sawai, E. and M. Yoshida. 2019. Marine and terrestrial food chain links: the case of large-billed crows *Corvus macrorhynchos* eating stranded sharptail sunfish *Masturus lanceolatus* in Fukui Prefecture, Japan. *Bulletin of the Fukui City Museum of Natural History*, 66: 57–62.
- 下田敬勇. 1995. 竜串沿岸の魚類相とマンボウの飼育について. *土佐の自然*, 68: 9–12.
- Shimose, T., H. Shono, K. Yokawa, H. Saito and K. Tachihara. 2006. Food and feeding habits of blue marlin, *Makaira nigricans*, around Yonaguni Island, southwestern Japan. *Bulletin of Marine Science*, 79: 761–775.
- Shimose, T., K. Yakawa, H. Saito and K. Tachihara. 2007. Evidence for use of the bill by blue marlin, *Makaira nigricans*, during feeding. *Ichthyological Research*, 54: 420–422.
- 白鳥岳朋. 2008. 海洋の太陽 — マンボウ丸い大きな体で水中をただよう. *Newton*, 28(11): 94–101.
- 園山貴之・荻本啓介・堀 成夫・内田喜隆・河野光久. 2020. 証拠標本および画像に基づく山口県日本海産魚類目録. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告, 11: 1–152.
- 竹内 健. 1988. 日本海の魚たち モンガラカワハギ. あきた, 319: 34.
- 田村昭夫. 1996. ヤリマンボウより得られた寄生虫. 郷土と博物館, 41(2): 27–28.
- 田中嘉寛・安曾潤子. 2010. ちょっと珍しい漂着物. 福井市自然史博物館博物館だより, 344: 1, 3.
- 立川淳也・宮島尚貴. 2018. 第9章 魚類 海水魚: 佐伯市沿岸で記録された魚類目録, pp. 381–405 + エクセルデータ付表. 佐伯市自然環境調査研究会(編) 佐伯の豊かな自然～佐伯市自然環境調査報告書～. 佐伯市生活環境課, 佐伯.
- 寺泊町役場総務課(編). 1993. 大海を旅するお医者さん「マンボウ」. てらどまり, 207: 16.
- 津田武美. 1990. 原色日本海魚類図鑑. 桂書房, 富山. 612 pp.
- 海の生き物を守る会. 2009. 河口にヤリマンボウ 本部・満名川. うみひろも, 36: 4.
- 矢部 博. 1950. ヤリマンボウの幼魚. 日本水産学会誌, 16: 40–42.
- 藪田洋一. 1953. マグロカジギ類の胃内容物(小笠原近海). 南海区水産研究所業績集, 1(業績番号 15): 1–6.
- 山田和彦・工藤孝浩. 1997. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・VI. 神奈川自然誌資料, 18: 73–78.
- 山田梅芳・入江隆彦. 1989. ヤリマンボウ. 西海区水産研究所ニュース, 63: 1.
- 山本邦彦・松村初男・坂井恵一. 1995. 石川県の海産魚類(II). のと海洋ふれあいセンター研究報告, 1: 9–15.
- 山本孝治. 1951. 但馬沖から採集された未記録魚の二、三に就いて. 兵庫生物, 1: 74, 84–85.
- 矢野和成. 2005. ミズウオの警告 — 南海のゴミ事情, pp. 185–198. 矢野和成(編) 南の島の自然誌: 沖縄と小笠原の海洋生物研究のフィールドから. 東海大学出版会, 秦野.
- 吉田麻里子・澤井悦郎. 2019. 2019年正月に敦賀市気比の松原海岸に座礁したヤリマンボウとそれを食べるハシブトガラスについて. 日本野鳥の会福井県会報つぐみ, 190: 13.
- 吉田鯉洲(編). 1799–1801. 丹後国木魚の図. ま免なくさ(西尾市岩瀬文庫所蔵).